



保育所の子どもたち

集いの場



3歳児健診



子どもの健やかな成長と
高齢者の元気な微笑みを
全力でサポート



佐伯市赤十字奉仕団募金活動

健康運動普及推進員と
身体を動かす体操教室

九州一の広大なやさしさ
佐伯市 **Saiki Spirit**

保健・医療・福祉

佐伯市の住民登録人口のうち、65歳以上の人占める割合は約35%（平成27年9月現在）と高齢化は年々進む一方です。高齢化社会への対策として展開している「さいきの茶の間」事業では、家に閉じこもりがちな高齢者等が気軽に集える憩いの場をつくり、介護予防や認知症予防を促進しています。さらに地域包括ケアシステムの構築により、在宅生活の不安の軽減や福祉の増進を図っていきます。

女性の社会進出や核家族の増加に伴う孤立化など、子育て世帯の環境の変化も起きています。佐伯市では、未来を担うさいきっ子が元気に育つよう、児童館や病児・病後児保育、地域子育て支援センターといった、地域一体となって子育ての意識を高める体制づくりを力を入れています。中学生以下の医療費を助成する「さいきっ子医療制度」にも取り組んでおり、保護者の経済的負担の軽減や健やかな子どもの育成を応援しています。また、障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、環境整備に努めています。



地域の身近な生活の場に、地域の人々が主体となって気軽に立ち寄れる「地域の集いの場」として運営する「さいきの茶の間」。公民館や集会所などにのれんを掲げ、交流の場として元気に活動している。

さいき 佐伯人

ころころHappy
足利悦子さん

お子さんの発達障がいや困り事などを抱える母親がつくる「ころころHappy」では、悩み相談室「ころころHappyルーム」の開催をはじめ、小学校のPTAや職員研修へ参加して発達障がいについての啓発活動に力を注いでいます。そこでは講演や、不器用体験、視野がせまくなる体験といった多動性障がいのお子さんの疑似体験も実施。発達障がいへの正しい理解を広めるとともに、発達障がいのお子さんだけが特別ではないこと、またどのような言葉が心に響くのかという、すべての子どもに共通する子育てのヒントも届けています。「みんなHappyになあれ」を合い言葉に心をバリアフリー化することで、子どもがより楽しく学べる環境づくりを目指しています。